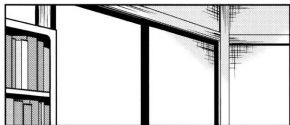




タイムスリッ

ちよつとあふ

R-18









それこそ

カラ松が
永久に効果の切れない
惚れ薬でも
飲まない限り

決して叶わない
恋なんだから







すごい
締め付けてくる
くせに

嘘ばっか

人ん家で
何やってんの
この人たち!



もお
やらあ〜♡

だっ
誰!?



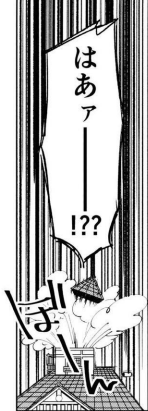
この人たち
どっから
現れたの!?

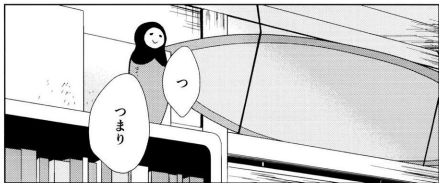
いや待て
そもそもこの部屋
おれしか
居なかったよね



それか
何だか
見覚えが...







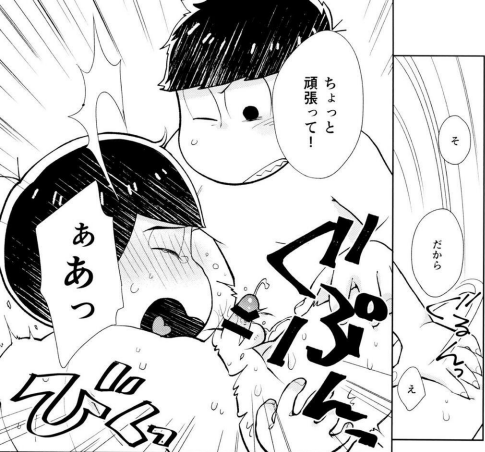














おかしいって

こんなの

夢なんだろうって
そう思いたいのにな



子供のおれが
助けを
求めているって
いうのに

当の大人のおれは
助けるそぶりも無く
ガン無視どころか
六つ子の兄とエッチ続行



こんな
狂った光景が
目の前で
行われているなんて



目が離せない

あいつが
おれと
恋人同士だなんて

そんなの
叶わない筈なのに

絶対に
諦めなきや
いけない筈なのに





妙な事したら
ブツ殺すけどね

!?



ぶっ



いいの?

まあ...
こいつが
呼んでるから...



独占欲
強すぎて
怖いんだけど!

なんでこの人
自分自身に
殺すとか
殺意マックス
なんだよ!

おや

おや



でも
カラ松が
呼んでるっていうなら
いいよね!

カラ松?
どうしたの?

大丈夫?
痛く無い?

はあ

はあ



ん、ん、ん



ん、ん、ん

少して...
いい、良いんだ



カツ
カラ松?



な?



ギョって...
してて、くれないか?

ちょっと

おっ、おっ



てねーよ

ばいばい

ちよつ
カラ松をいじめ…



わっ

カラ松!?

あ♡あつ

あーっ



こいつの…

ちよつと
優し目に
小突いてやってる
だけだし

こいつの
悦いトコ

カラ松



えっ
何でオレ？

いや……
どこを
どうされると
気持ちが良いかって

一番
わかってるのは
他でも無い
カラ松だし……

カラ松！
教えてくれ！

なか、に

押されると
気持ちいい
スイッチがあつて

そ、そこは
ソーバッド
なんだ……

えっ

その

はー

……な

全然
説明になつて
ねえじゃ
ねーか！

あつ
♡

まあ

大好きな
前立腺
攻められて

まともに
頭回らな
いかな



ケツの穴越しに
ちんぽで
ソイツをいっぱい
突いてやると…



カラ松は
ちんぽを弄らなくても
ケツだけで
イケるようになるんだよ

ケツだけで…



前立腺

ぜんぜん…?

ーってやつが
男の腹側方には
あるんだけどさ



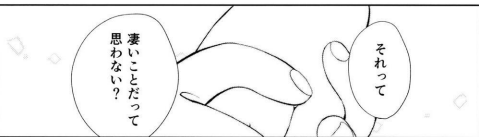
こいつはそこで
一生懸命
おれを受け入れて
感じてくれてんだよ

でも



ケツの穴なんて

所詮はただの
排泄器官
なんだけどね



凄いいことだっ
て思わない？

それって





—おれも

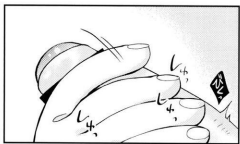


おれもいつか
カラ松と



こんな関係に
なれるんだ



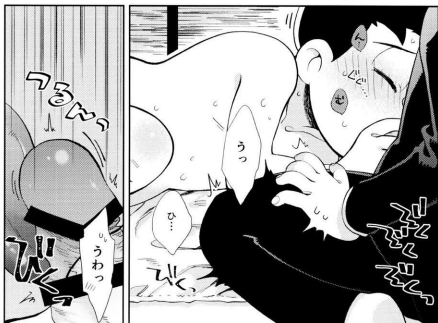


待って待って！
皮に
舌入ってる！

カラ松！
カラ松兄さん！

うっ
…っわ…
これ、ヤバイ…

本当に…ダメ…
だって…







口離して

カラ松



ガキ

おっ

テメーなあ!

好きにさせてりやあ
ガキに
色目使ってんじゃ
ねーぞオラア!

そんなに
新品ちゃんぽが
良いのかよ

ガキ

ガキ

ガキ



子供のおれが
困ってるのに
助けるでも無く
放置とかマジで
ありえないんだけど！

しかも自分は
ひたすら
セックスセックス
セックスセックス！



大人として
恥ずかしいって
思わねーのか！

困っている
人に対して
力になるう
助けようっていう
精神はねーのかよ！



何とか
言ってみろよ！

あ…

それ…っ

ま



の…

待っ…

ダメ人間！

んだと
オラア！

へ
ああ
!??

のんっ!

ダメ人間は
ダメ人間だろうが
バーカ！

こっの
ガキヤアッ！

のん
のん
のん

のん
のん



じゃあ元の世界に
戻れるよう
協力しろよ!

しろよ?
嫌だね

はあく〜
???



こっちは
知ったこっちゃ
ねーんだよ!

只でさえ
邪魔なんだから
さっさと帰れ
クソガキ!

クソガキって
言うな!



は?
クソガキは
クソガキだろ!

自分だって
おっさんじゃなか!

何だと
テメエ!









ア
ッ



フツ

野暮な質問だ…

それは
忘れもしない
一年前

憂い多きこの街に
春の雪舞う
宴の後……

怠惰の美酒に
酔いしれたお前は
口からレインボーを
零しながら…

んぐらッ

そこまで
言わなくても
良いんだよ！



不安は払拭された
だろうけど
そのノリでおれが
過去のお前に
告白したら

今のおれ達にも
何かしらの
影響があるはず
でしょ

あ…



じゃなくて！



そ…
そうだな

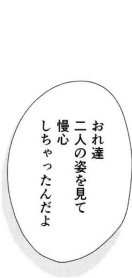
まあ

自分の事だから
嫌でも
わかるって
だけなんだけどね



慢心…？

そ



おれ達
二人の姿を見て
慢心
しちゃったんだよ



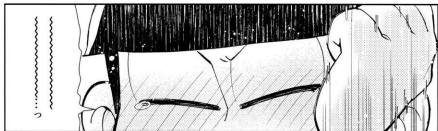
多分

単純に

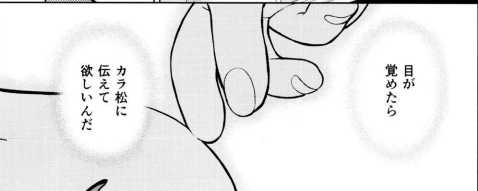


自分は
カラ松と必ず
恋人同士に
なれるからって

バカだから
告白もしてないのに
勝手にものだと
勘違いして
拗らせてくんだよ



いやったーッ!





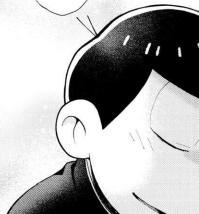
弟の

男のおれを

好きになって
くれて

受け入れて
くれて

ありがとう



大人のおれは

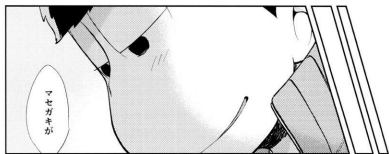
自分勝手に
乱暴だけど

不器用だから
いっぱい
泣かせたり

辛い思いを
させるかも
しれない

昔から
変わらず
カラ松の事が
好きなやつなんだ

けど









おれの方が
お前の事
好きだから



ーだしても



ー松うー♡



ちょっとあふないタイムスリップ！

20180128 MISTER OSOMATSU UNOFFICIAL FANBOOK #013

本日は定休日/もずはる mail:navigationacts@gmail.com printed by:アクセス出版様

本作は個人の二次創作であり、原作者様及び版権元とは一切関係ありません。無断転載・複製、ネットオークション、フリマアプリへの出品禁止

An illustration of a woman's legs and hands, rendered in a soft, pinkish-red color palette. The background is a light pink with a pattern of small white triangles. The woman's hands are clasped together, and her legs are spread apart. She is wearing yellow underwear with a pink circular detail. A blue speech bubble is positioned near her hands.

20180128
Mister Dsomatsu
Unofficial fanbook#D13
honjitsuha-teikyubi

